



【基本施策の目的】

各種の公共交通機関が有機的に連携するとともに、より多くの市民が自ら進んで利用することにより、持続可能な公共交通ネットワークを構築します。

【基本施策の今後の優先度】

判定区分	基本施策における課題の状況及び対応策
	基本施策の指標値は、目指す方向性と一致しているが、多くの経費を要している。公共交通を持続可能なものとしていくためには、新たな利用者の確保・定着に向けた利用促進、サービス水準の見直しなどの様々な取組を市民・利用者で連携しながら実施していくとともに、まちづくりと連携したより効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築を図っていく必要がある。しかし、当面は、基本的に現状の取組を継続的に進めていく予定であり、同一分野における他の基本施策との比較の結果、同一分野内における今後の経営資源の配分の優先度は普通と判断した。

【指標の分析】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、今後の対応
小牧市の公共交通に満足している市民の割合	%	実績	37.2	39.6	44.4	41.9	43.3	平成27年4月、28年4月にこまき巡回バスの再編を行い、コース数、バス停数などを拡充したことや田県神社前駅の駅前広場の整備、味噌岡駅・小牧原駅バリアフリー化整備により、利便性の向上を図ったことにより満足度は上がったと思われる。満足していない理由は、鉄道、民間路線バス、こまき巡回バスの運行本数をさらに増加してほしい等によるものである。	今後の指標値の見通しであるが、本年8月に利便性向上のため、こまき巡回バスの見直しを実施することから、当該指標値は目指す方向性のとおり増加すると考えられる。今後の対応であるが、こまき巡回バスは、バスロケーションシステム導入の検討や運行本数を含む運行内容については、現行コースを評価・検証しながら、平成32年4月再編に向けた事業を実施していく。また、小牧口駅をバリアフリー化する鉄道事業者の取組を支援するとともに、小牧口駅自転車等駐車場の整備を行う。
		目指す方向性							
公共交通機関の1日平均利用者数	人	実績	37,078	38,654	40,298	41,311	42,915	鉄道及びこまき巡回バスの利用者が増加したことから、公共交通機関の1日平均利用者数は増加した。その鉄道利用者が増加した要因は、名鉄小牧線沿線沿いの区画整理事業により居住者が増加したこと、また、こまき巡回バスの利用者が増加した要因は、平成27年度より2ヶ年かけて再編を行い、コース数・バス停数などを拡充し、利便性の向上を図ったことによるものであると想定される。	左記理由により、今後も増加が見込まれるが、現在の公共交通網を維持・存続していくために、一人でも多くの方に利用していただくよう、利用促進を図るとともに、こまき巡回バスについては、より効果的・効率的な運行を目指して、平成32年4月に市内全域において再編を実施する予定である。
		目指す方向性							

【施策推進事業の考え方】

<p>経常事業</p>	<p>削減に関する具体的な考え方</p>	<p>「自転車等駐車場管理事業」より削減を図る。自転車等駐車場管理事業は、自転車等駐車場の整理業務や、維持管理費は引き続き必要ではあるが、13委託料 自転車等駐車場設備保守管理委託の業務内容を一部見直すことで、87千円削減する。</p>
<p>実施計画事業</p>	<p>資源投入の考え方</p>	<p>—</p>

展開方向1		名称	より効果的・効率的な公共交通ネットワークを形成します					方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
		目的	〇より多くの市民にとって利用しやすい公共交通の実現を図ります。						
		所管課	都市政策課						
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度		
公共交通の利用者満足度	%	実績	43.3	42.4	52.8	46.7	50.6	<p>平成27年4月、28年4月にこまき巡回バスの再編を行い、コース数、バス停数などを拡充したことや田県神社前駅の駅前広場の整備、味岡駅・小牧原駅バリアフリー化整備により、利便性の向上を図ったことにより満足度は上がったと思われる。</p> <p>満足していない理由は、鉄道、民間路線バス、こまき巡回バスの運行本数をさらに増加してほしい等によるものである。</p>	<p>今後、こまき巡回バスは、バスロケーションシステム導入の検討や運行本数を含む運行内容については、現行コースを評価・検証しながら、平成32年4月再編に向けた事業を実施していく。また、小牧口駅をバリアフリー化する鉄道事業者の取組を支援するとともに、小牧口駅自転車等駐車場の環境整備を行う。</p>
		目指す方向性	↑						
こまき巡回バスの1日平均利用者数	人	実績	1,085.7	1,134.4	1,355.9	1,732.6	1,901.0	<p>平成27年4月、28年4月に再編を行い、拡充を図った、再編から1年が経過し、利用者に周知されてきたこと、高齢化が進み高齢者の利用が増加したことにより、利用者数は増加した。</p>	<p>今後も地域住民にコース、ダイヤがより定着していくことにより更なる利用者数の増加が見込まれるが、より効果的・効率的な運行を目指して、平成32年4月に市内全域において再編を実施する予定である。</p>
		目指す方向性	↑						
駐輪場の不足台数	台	実績	101	129	152	0	62	<p>平成28年7月に間内駅の自転車等駐車を138台増設したことで、平成28年度は、不足台数がなくなった。しかし、名鉄小牧線沿線で行われている土地区画整理事業の進捗により、居住人口が増加していることにより、鉄道利用者が増え、併せて、自転車等駐車の利用者増加により、駐輪場の不足台数が増加したと想定される。</p>	<p>味岡駅自転車等駐車場の利用者数が特に増加していることから、今年度中に増設をする。また、放置自転車の撤去回数を年3回から4回に増やし、放置自転車を減らす方針である。</p>
		目指す方向性	↓						

展開方向2	名称	公共交通の利用を啓発します							
	目的	○交通渋滞の解消や地球温暖化防止による二酸化炭素の排出抑制を図ります。 ○市民の日常生活を支えるために必要な公共交通サービスの維持・存続を図ります。							
	所管課	都市政策課							
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
通勤目的の公共交通利用率	%	実績	10.0 (21年度)	—	—	26.2	—	名鉄小牧線沿線の区画整理事業による居住者の増加により、鉄道の利用者が増加していることから、電車で通勤する方が増えたと考えられる。	小牧口駅をバリアフリー化する鉄道事業者の取組を支援するとともに、小牧口駅自転車等駐車場の整備を行い、通勤する方が、公共交通機関を利用しやすい環境を整備していく。
		目指す方向性	➔						
バス運行対策補助路線の利用者数 (ピーチバス)	人	実績	383,831	379,563	377,101	361,715	362,901	昨年度より利用者数は増加したものの、基準となっている年度より減少している。これは、桃花台地区から春日井市方面へのバス利用者数が増加していることから、ピーチバスの利用者がそちらに流れている可能性がある。	今後、桃花台地区住民の高齢化に伴い、通勤利用者は減少することから、利用者数は減少することが想定される。そのため、「いきいきこまき」において、ピーチバスの運行車両を利用したバス乗り方教室などを開催して様々な世代に利用していただくように利用促進を図る。
		目指す方向性	➔						